

# 平成7年度 BELCA賞表彰式



## 会長挨拶

(社)建築・設備維持保全推進協会会長 **高木 丈太郎**

会長の高木でございます。表彰式の開催に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところ受賞者関係者並びに、審査委員の方々には、ご出席を賜り、誠にありがとうございました。特にお忙しい中、中尾建設大臣にご臨席いただきました。また、受賞者といたしまして、モンデール駐日アメリカ大使にご参列をいただきましたことを、大変光栄に存じます。

さて、平成7年度 BELCA 賞公募は、第5回を数え、今回も全国から優秀な作品をご応募いただきました。これも建物所有者を始めとする関係者の方々の本賞に対する深いご理解の賜物と存じます。また、審査に当たりましては、審査委員の方々が大変ご苦心されたとのお話を伺ってお



り、委員の方々には、厚く御礼申し上げます。

表彰されました建築物が、今後も、わが国の良質な社会ストックの形成の範となるものと確信しております。

受賞者の皆様、心からお慶び申し上げます。

## BELCA 賞審査委員会 委員長挨拶

BELCA 賞審査委員会委員長 **岸谷 孝一**

ご紹介いただきました BELCA 賞審査委員会委員長の岸谷でございます。

本日は、ご来賓に中尾建設大臣が、国会執務の合間をぬって駆けつけて下さり、またご多忙の中、モンデール駐日アメリカ大使のご臨席を得て、今回、通算 5 回目の BELCA 賞表彰式にふさわしく、大変に華々しい式典とさせていただくことができました。誠にありがとうございました。

BELCA 賞は、良好な建築ストックの形成に寄与することを目的とするものであり、既存の建築物を総合的に評価して表彰する制度は我が国では唯一のものであります。

我が国の建築ストックを、良好な形で後世に繋いで行けるよう、今後とも、BELCA 賞の制度を効果的に活用してまいりたいと考えております。

幸いに、これまでの 5 年間に 50 件近くの優秀



な建築が受賞され、学術的にもこれらの共通項を探ることにより、21 世紀における我が国の建築のあり方をあぶり出し、提言できる時期にきたように思います。

このような活動も含め、今後とも BELCA 賞の発展に努めたいと存じます。

最後に、本日受賞されました方々のご功績を讃え、私のご挨拶と致します。

## 平成 7 年度 BELCA 賞 LLB 部門専門部会審査総評

LLB 部門専門部会主査 **太田 邦夫**

本年度の LLB 部門は、オフィス、学校、宗教施設、公共施設など多種多様な作品の応募があった。第 1 次審査において応募書類、スライドなどを基に選考した作品を、全委員による第 2 次審査（現地審査）を行い、経年した建物の維持保全の経緯、ならびに現状を確認した。

現地審査の完了後、部門審査会を開催し、各物件について慎重に討議・検討を重ねた結果、今年度は次の 4 件が BELCA 賞 LLB 部門の受賞作品として選出した。



「文藝春秋本社ビル」は、コアシステムによる

4面採光といった斬新な平面計画を採用しながらも、節度あるデザインを守り、管理しやすいディテールを育てることで、風格あるオフィスビルとしての当初の特徴をいまでも保持している。「出雲大社庁舎」は、その独創性に満ちた空間構成と大胆な架構方式で知られているが、その表情豊かなコンクリートの質感は依然注意深く保たれており、周囲の歴史的な木造建築とも調和しながら、これからの経年した鉄筋コンクリート造の建築のあり方を率先して示している。

「サンワ東京ビル」は、将来の業務内容の変化と拡大化を予測して周到に計画された平面構成を有し、その端正な外観を整え続けることで、周辺都市環境の維持に積極的に貢献している。

「在日アメリカ合衆国大使館公邸」は、1930年代当時の洗練された折衷主義のデザインを代表す

る作品で、その改修や維持保全に際しても当初の設計思想を重視し、国際的な文化交流の基点としての建築の役割を見事に果たしている。

これらの表彰作品に共通することは、いずれの物件においても、建設当初の計画の意図や施工技術の内容が建物の管理責任者側によく理解されており、それが現在においてもこれらの作品が依然として健全な姿を留めている大きな要因になっていることである。限られた維持関連の予算の枠のために、維持管理の現場担当者の必死の努力と忍耐だけで建物の命脈が支えられている例が多いが、永続的な建築へ向けてのこうした作品の特色が建物の維持管理機構全体に理解され伝達され続けていくことも、優れた建築が今後数多く残されていくために必要な条件であることが、今回の審査を通じて確認された次第である。

## 平成7年度BELCA賞 BRB 部門専門部会審査総評

BRB 部門専門部会主査 武者 英二

審査に先立ち、評価基準について協議した。基本的には昨年までの基準を踏襲することにし、必ずしもこれにとらわれずに BRB 部門の精神を重視することとした。

第1次審査において応募資料とスライドをもとに慎重に検討して選出した作品と、昨年第1次審査通過後、阪神・淡路大震災によって第2次審査（現地審査）が出来なかった作品を加えて第2次審査対象作品とした。

例年の第2次審査は数人ずつのグループに分けて行ってきたが、今年度はほとんどの物件に部門の全審査員が参加し、審査会の結果、次の6作品を表彰作品として選出した。



「産業技術記念館」は、1912年に開設された木造トラス鋸屋根、レンガ造の紡績工場を補強・改修した部分と、産業博物館として十分な機能を持たせるために新たに建設された部分からなる。新

旧対比のなかに、調和した建築構成をつくり出すことに成功している。

「日本歯科大学新潟歯学部」は、築後20年の老朽化部分の改修と、医療を取り巻く社会環境の変化に対応した総合的なリニューアルである。特に、省エネルギーを目的とした設備の改善と建築主の建築への愛着と誇りが、「ノンダウン・リニューアル」といった難工事を成功させたものと評価した。

「神戸郵船ビル」は竣工満75年を期して、オフィスビルとしての安全性と機能性から全面的な改修を行ったものである。耐震補強の完璧さは、阪神大震災が皮肉にも実証することとなった。スクラップ&ビルドの時代に、維持・運営に努力された事業主の建築文化に対する理解に敬意を表したい。

「ホテルニューグランド」は、隣接する敷地に新館を建築することによって、今回の審査対象の本館の復元再生が可能になったものである。復元は、1913年の創建時に限りなく近く、忠実に行われている。特に、中庭の復元は「中庭型公開空地」として市民に開放されているのは、歴史的なホテルと市民の良き関係を物語っている。対比的な本館とよく調和して新館の表現も好ましい。

次の2件は、昨年度に応募のあった作品である。「水の科学博物館」は、1917年に建設された急速濾過場上屋を、内部装置を撤去して水とくらしの博物館として再生したものである。細心の修復によって、ドイツ風の重厚で優美な外観は、公園としての前庭と見事な調和を見せている。

「王子市民ギャラリー」は、1904年に関西学院チャペル兼講堂として建設され、神戸空襲で被災した後、その傷痕を残したまま、さまざまな用途に供されてきた。新しい機能・ギャラリーとしての再生を機会に、塔、尖塔、ハンマー・ビーム・トラス小屋組みなど綿密な歴史的考証によって復元・修復がなされている。

今年度表彰作品6件は、改修された内容もさることながら、時代・用途・意匠・構造など、それぞれ異なった特徴をもっている。いずれの作品においても共通して言えることは、長い間、風雪に耐え、人々に愛され、時代の証人として生きてきたことである。

その背後には、関係者の大変な努力と巧みな運営、維持管理、多様な技術的工夫を見ることができる。優れた建築ストックは、こうした方々のあるかぎり、新しい未来が開けると確信した。

## 平成7年度審査委員会の構成及び委員

### 委員長

岸谷 孝一（日本大学理工学部建築学科教授）

### 特別委員

梅野捷一郎（建設省住宅局長）

蔵 眞人（BELCA 専務理事）

### LLB 部門専門部会委員

太田 邦夫（東洋大学工学部建築学科教授）

柳澤 忠（名古屋市立大学芸術工学部設立準備

### 委員長）

青木 幹男（三菱地所(株)第2 建築部長）

石福 昭（早稲田大学理工学部建築学科教授）

津野 治男（(株)東急コミュニティー常勤顧問）

中田 準一（(株)前川建築設計事務所）

船津 正義（(株)日本設計プロジェクト本部本部担当部長）

宮入 保（(株)佐藤総合計画代表取締役専務）

村松 映一（(株)竹中工務店取締役設計本部長）

BRB 部門専門部会委員  
 武者 英二 (法政大学工学部建築学科教授)  
 沖塩 荘一郎 (東京理科大学工学部建築学科教授)  
 臼井 齊 (東光電気工事(株)専務取締役技術本部長)  
 浦林 亮次 (株ユー・アソシエイツ代表取締役)  
 加藤 晃 (株日建設大阪本社 理事 設備統括部長)

佐野 幸夫 (鹿島建設(株)設計エンジニアリング総事業本部常務取締役副本部長)  
 萩原 捷 (三井不動産(株)プロジェクト企画本部建設部部長代理)  
 古田 敏雄 (清水建設(株)専務取締役技師長 設計本部長)  
 宮 恭 (日本メックス(株)代表取締役社長)

平成7年度 BELCA 賞 LLB 門 表彰作品

作品名	所在地	竣工年度	所有者	設計者	施工者	維持管理者	用途
出雲大社庁舎	島根県簸川郡	1963年	出雲大社	(株)菊竹清訓建築設計事務所	大成建設(株)	出雲大社神地課	貴賓室他
サンワ東京ビル	東京都千代田区	1973年	(株)三和銀行	(株)日建設計	(株)大林組	(株)三和銀行 東洋ビルメンテナンス(株)	オフィス
文藝春秋本社ビル	東京都千代田区	1966年	(株)文藝春秋	(株)竹中工務店	(株)竹中工務店	(株)文藝春秋	オフィス
在日アメリカ合衆国大使館大使公邸	東京都港区	1931年	米国大使館	ヴァン・ビューレン・マゴニグル(原設計) アンソニー・レーモンド(庭園設計) RTKL アソシエイツ(改修工事)	(株)大林組	米国大使館総務部施設管理課	大使公邸

平成7年度 BELCA 賞 BRB 部門 表彰作品

作品名	所在地	竣工/改修年	所有者	設計者	施工者	用途: 改修前→改修後
王子市民ギャラリー	神戸市灘区	1904/1993年	神戸市	神戸市住宅局営繕部 (株)一粒社ヴォーリス建築事務所	(株)新井組 松尾電設工業(株) 近畿設備(株)	図書館→ ギャラリー
神戸郵船ビル	神戸市中央区	1918/1993年	日本郵船(株)	(株)日本設計関西支社	(株)大林組 (株)藤木工務店	オフィス
産業技術記念館	名古屋市西区	1912/1994年	トヨタグループ(13社)	(株)竹中工務店	(株)竹中工務店 (株)大林組 清水建設(株) (株)伊藤工務店	紡績工場→ 博物館
日本歯科大学新潟歯学部	新潟市浜浦町	1972/1994年	学校法人日本歯科大学	鹿島建設(株)設計エンジニアリング総事業本部北陸支店	鹿島建設(株)北陸支店	病院・大学
ホテルニューグランド	横浜市中区	1927/1992年	横浜市 (株)ホテルニューグランド	清水建設一級建築士事務所	清水建設(株)	ホテル
水の科学博物館	神戸市兵庫区	1917/1989年	神戸市(水道局)	神戸市水道局技術部	(株)奥村組	浄水場→博物館